

会場

衆議院第一議員会館

多目的ホール

## 「核燃料サイクル」の現実から 「エネルギー基本計画」を検証する

4月11日に閣議決定された国のエネルギー基本計画は、核燃料サイクルについて「プルサーマルの推進、六ヶ所再処理工場の竣工、MOX燃料加工工場の建設、むつ中間貯蔵施設の竣工等を進める」とし、もんじゅについても「実施体制の再整備や新規規制基準への対応を進める」としています。

しかし現実には、福島原発事故以降、各地の原発のプルサーマル計画は頓挫しており、度重なる事故に加え活断層問題によって「高速増殖炉もんじゅ」の運転再開の見込みはほぼなく、これ以上の余剰プルトニウムを持つことに国際社会から厳しい目が向けられています。

私たちは、六ヶ所、もんじゅ、全国の原発、そして世界の現実をまっすぐ見据えた上で、「核燃料サイクル政策を推進する」としたエネルギー基本計画を再度問い直さねばならないと考え、シンポジウムを開催します。

日時

2014年5月21日（水）  
13時～15時30分

12時半より議員会館ロビーで通行証を配布します

内容

基調講演1 「六ヶ所村の記録－核燃料サイクル基地の素顔」

鎌田慧さん（ルポライター・ノンフィクション作家）

基調講演2 「エネルギー基本計画における核燃料サイクル政策の問題点」

伴英幸さん（原子力資料情報室共同代表）

報告：市民の六ヶ所視察ツアー

資源エネルギー庁・原子力規制委員会との質疑応答と意見交換

\* 事前質問は、日本が所有する核燃料の管理や環境汚染、核燃サイクルにおける重大事故時の対応、避難などについてです。詳細は<http://www.soshinet.org/activities/20140521>でご覧になれます。

\* 参加費：無料

主催：「六ヶ所再処理工場」に反対し放射能汚染を阻止する全国ネットワーク

協力：原発ゼロの会

お問い合わせ先：日本消費者連盟気付tel03-5155-4765